

シティプロモーションの最前線基地

休日はのんびりと家庭菜園で野菜作り。今年の夏に植えたキュウリは「場所が良かつたからか豊作でした」。学びと交流を促す研修企画チーム「まなびtōプラス」代表を務める、小美玉市下馬場区にお住まいの代々城衣里さんにインタビューします。

愛着を育てる 学び交流の場

小美玉市職員としてシティプロモーション・広報を担当している代々城さんは、広報

おみたまで全国3位に入選

した実力者。代々城さんか

ら見たみの「れの存在は「小

美玉市のシティプロモーション的

な動きの最前線基地だ

と思っています。子どもから

ご高齢の方までたくさんの

人たちが、実際にさまざま

な愛着を持っています。全国か

ら観察にやってくるだけあつ

て、本当にすごいと思いま

す」。シティプロモーションの

全国的な潮流は「自分のま

ちを知り合いにお勧めし、ま

ちを良くする活動に参加

し、その活動に感謝・応援す

る、この3つの意欲を高める

ための活動」。みの「れに参

加参画する

ことで、自分の中

のダイヤの原石を見つけ、磨

き合い、光をあて輝き出す

人たちが次々と出てくる、ま

さに「ダイヤモンドシティ小

美玉」の最前線基地。

「年齢問わず、みの「れへ

の愛着を恥ずかしがらずに

言える人たちを見て、いる

自分の心に素直になれる場

なのだと感じます」。家族や

出身校に近い愛着を寄せる

存在を住民自身が育ててい

るのがみの「れの特徴、と

代々城さん。「プライベート

で関わっているから気づいた

感情なのかもしれません」と

語ります。

価値観が多様化した現代

社会において、正解は一つで

はないからこそ対話が大事。

みの「れ各チームの住民

リーダーの合意形成に導く

手腕はすごい、と感心。代々

城さんもそのリーダーの一

人として、みの「れパート

として、みの「れをま

すます元気に育てていきま

しょう。

(藤田佐知子)



まなび to プラス 代表

よ
よ
ぎ
え
り
代々城 衣里 さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.219